

namco

バックマニア 説明書

目 次

1. 仕 様	1
2. 注意事項	1
3. 調 整	1
(1) P C ボードの接続	1
(2) コントロールパネルの接続	1
(3) セルフテスト	2
(4) ゲーム料金などの切り換え	2
(5) スイッチテスト、サウンドテスト、クロスハッチパターン	3
4. P C ボードの説明	4
(1) オプションスイッチ	4
(2) 調整用ボリューム	4
5. P C ボードコネクタ表	5
6. 遊び方	6
・ステレオ対応キャビネットへの接続	7
(1) ステレオ/モノラル切り換え	
(2) スピーカへの接続	
・ヘッドフォン出力	7



1. 仕 様

- | | |
|-------------------|--|
| (1) ゲーム名称 | バックマニア |
| (2) コントロールレバースイッチ | 1 (4方向) |
| (3) ボタンスイッチ | 1 (ジャンプボタン) |
| (4) PCボードサイズ | 292×350mm (ROM-PCボード)
272×243mm (CPU-PCボード) |
| (5) モニターの向き | タテ |

2. 注意事項

- (1) PCボードの取り付け、取り外しの際には、必ず、キャビネットの電源を切ってください。
- (2) PCボード上に異物が乗っていたり、ほこりがかかっていたりすると故障の原因となりますので、PCボード上はいつもきれいにしておいてください。
- (3) PCボードの修理は購入先でいたしますので、テスターなどによる導通検査は絶対にしないでください。
- (4) PCボードを輸送するときには、スポンジやエアキャップなどで包み、ダンボール箱に入れて直接外力がかからないようにしてください。

3. 調 整

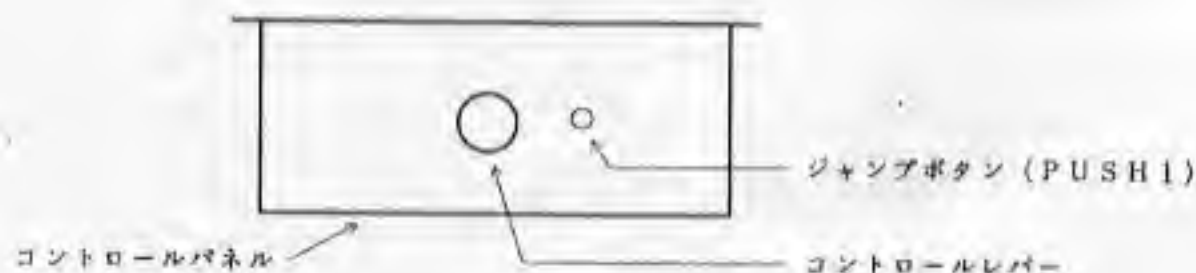
(1) PCボードの接続

PCボードをキャビネットのコネクタに接続します。(P5:PCボードコネクタ表 参照)
必ず、キャビネットの電源を切ってください。

※本機は、ステレオ対応のキャビネットで使用すると、ステレオ効果を楽しむことができます。
(P7:ステレオ対応キャビネットへの接続 参照)

(2) コントロールパネルの接続

ジャンプボタンはPUSH1 (P5:PCボードコネクタ表 参照)に接続してください。



(3) セルフテスト

セルフテストは自動車における始業点検と同じです。できれば毎日行うことが望めます。本機にはセルフテスト機能があり、テストスイッチによって各部のテストが行えます。

- (a) PCボード上にあるテストスイッチ（オプションスイッチの1番）を“ON”にしてください。セルフテストが始まります。なお、通常はテストスイッチを“OFF”にしておいてください。（P 4 参照）

キャビネットのテストスイッチでもセルフテストを行えます。（P 5：PCボードコネクタ表 参照）

- (b) セルフテストは数秒間行われます。PCボードに異常がなければ、モニターに図1のような画面（ゲームオプション画面）が映しだされます。

(4) ゲーム料金などの切り換え

ゲームオプション画面でゲーム料金などの切り換えを行います。

- (a) ゲームオプション画面で赤い文字になっている項目が変更できます。
(b) 項目の選択は、コントロールレバーの上下の操作で行います。
(c) 項目内容の変更は、コントロールレバーの左右の操作で行います。
(d) ゲームオプション設定表に従って、切り換えてください。
(e) 切り換えが終了したら、テストスイッチを“OFF”にしてください。ゲーム画面に戻ります。

TEST PROGRAM
INITIALIZE ERROR

と表示された場合は、ゲームオプションを再度設定してください。

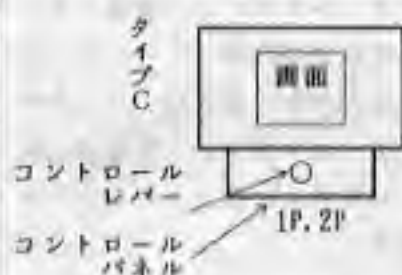
・ロムを交換したとき等に、このメッセージが表示された場合も同様にオプションの設定を行ってください。

GAME OPTIONS			
COIN1	1	COIN CREDIT	①
COIN2	1	COIN CREDIT	②
ATTRACT	SOUND		③
TYPE	A		④
FLIP	OFF		⑤
PACMAN	3		⑥
EXTEND	100000		⑦
RANK	B		⑧
GAME END	23ROUND		⑨
PLAY MODE	CONTINUE		⑩
BRIGHTNESS	NORMAL		⑪

図1 ゲームオプション画面

表1 ゲームオプション設定表

項目	内 容	
①ゲーム料金 コイン1	コイン数	1～9 (出荷時は1)
	クレジット数	1～9 (出荷時は1)
②ゲーム料金 コイン2	コイン数	1～9 (出荷時は1)
	クレジット数	1～9 (出荷時は1)
③アトラクト音	SOUND {音あり} ◀ OFF {音なし}	
④キャビネット (右図参照)	A {タイプA} ◀ B {タイプB} C {タイプC}	
⑤フリップ (1Pサイド)	OFF {正} ◀ ON {逆}	
⑥バックマン数	1～5 (出荷時は3)	
⑦エクステンド	50,000 ◀ 100,000 150,000 NOTHING	
⑧ゲーム難易度	A {易しい} ◀ B {標準} C {やや難しい} D {難しい}	
⑨最終ラウンド	23ROUND ◀ 11ROUND ENDLESS	
⑩PLAY MODE	CONTINUE {継続} ◀ RETRY 1ST {継続なし} SELECT {面セレクト}	
⑪画面の明るさ	NORMAL {普通} ◀ HIGH {明るい}	



(5) スイッチテスト、サウンドテスト、クロスハッチパターン

ゲームオプション画面でサービススイッチを押すと、3種類のテスト画面に順次変わります。テストが終了したら、テストスイッチを“OFF”にしてください。どの画面からでもゲーム画面に戻ります。

4. PCボードの説明

(1) オプションスイッチ

オプションスイッチの1番を“ON”にするとテストモードになります。

テストモードにして、ゲーム料金の切り換えなどを行います。(P2、3参照)

通常は全て“OFF”です。

表2 オプションスイッチ表

※太字は、出荷時の設定

項 目	内 容	1	2	3	4	5	6	7	8
			常時 OFF						
テストスイッチ	ノーマル テストモード	OFF ON							

(2) 調整用ボリューム

出荷時に適正な状態に調整してあります。

特に支障が無ければ、そのままお使いください。

①音量ボリューム

右へ回すと音量が大きくなります。

②バランスツマミ (BAL)

ステレオ仕様の場合、左右の音量のバランスを調整します。

通常のモノラル仕様のキャビネットの場合、Rへ回すと音が出ないことがあります。
中央の位置が標準です。

③音質調整ツマミ (BASS/TRBL)

このツマミを調整して好みの音質効果を得ることができます。
中央の位置が標準です。

オプションスイッチ



調整用ボリューム

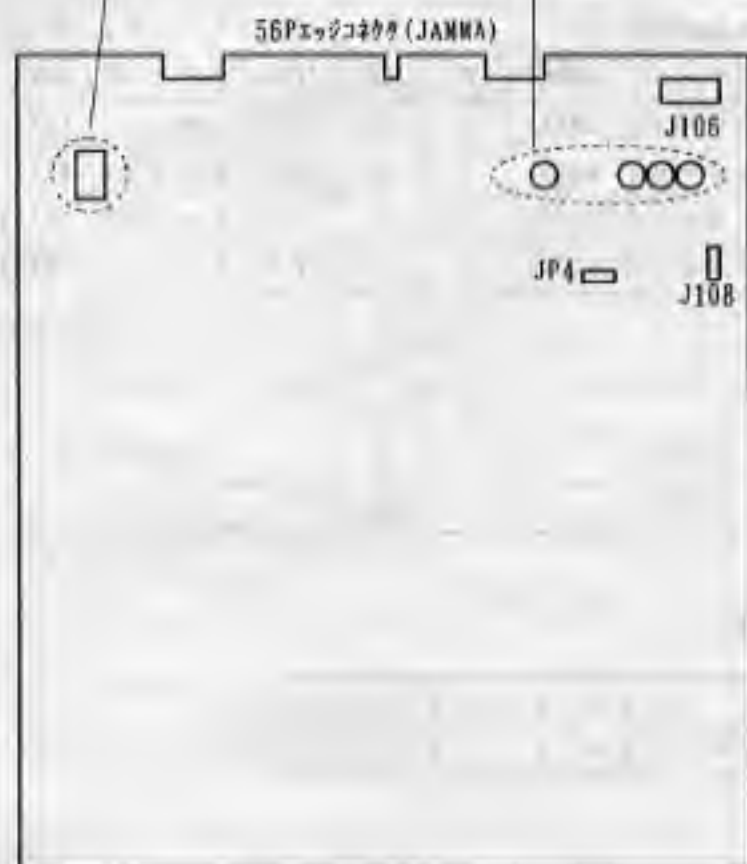


図2 ROM-PCボード

5. PCボードコネクタ表

56Pエッジコネクタ (3.96mmピッチ)

ハンダ面	端子番号		部品面
GND	A	1	GND
GND	B	2	GND
+5V	C	3	+5V
+5V	D	4	+5V
	E	5	
+12V	F	6	+12V
誤挿入防止キー	H	7	誤挿入防止キー
コインカウンター2	J	8	コインカウンター1
	K	9	コインロックアウト 1
スピーカ (-)	L	10	スピーカ (+)
オーディオ (GND)	M	11	オーディオ (+)
ビデオ GREEN	N	12	ビデオ RED
ビデオ SYNC	P	13	ビデオ BLUE
サービス スイッチ	R	14	ビデオ GND
	S	15	テスト スイッチ
コイン スイッチ 2	T	16	コイン スイッチ 1
スタートスイッチ 2	U	17	スタートスイッチ 1
2Pコントロール1 UP	V	18	1Pコントロール1 UP
2Pコントロール2 DOWN	W	19	1Pコントロール2 DOWN
2Pコントロール3 LEFT	X	20	1Pコントロール3 LEFT
2Pコントロール4 RIGHT	Y	21	1Pコントロール4 RIGHT
2Pコントロール5 PUSH1	Z	22	1Pコントロール5 PUSH1
2Pコントロール6 PUSH2	a	23	1Pコントロール6 PUSH2
	b	24	
	c	25	
	d	26	
GND	e	27	GND
GND	f	28	GND

- 空欄のコネクタ部には、何も接続しないこと。
- ロックアウトソレノイド、コインカウンタの電源は、+12V。
- 各スイッチは、マイクロスイッチ等の N.O. 端子に、GNDは、COM 端子に接続する。





電源容量

+5V	±5%	4.0A 以上
+12V	±5%	1.0A 以上

- 電源電圧は、±5%内で使用可能ですが、最良の状態でお使いいただくため、できるだけ指定電圧に近い電圧でお使いください。

6. 遊び方

○ コントロールレバー（4方向）で主人公（パックマン） を操作し、迷路上に置かれたエサを、モンスター  につかまらないように全部食べてください。

○ パックマンはジャンプボタンによってジャンプをし、モンスターをかわすことができます。

○ 迷路上には通常より大きなパワーエサがあります。パックマンがそれを食べると、一定時間モンスターは青くなってイジケてしまい立場が逆転します。この間、パックマンはモンスターをやっつけることができます。

○ パワーエサの他に、フルーツターゲットやスペシャルアイテムなどがあります。

○ 迷路上のエサを全部食べると、次のラウンドに進みます。

○ パックマンが全滅するか、最終ラウンドをクリアするとゲームオーバーです。

○ 画面説明



ステレオ対応キャビネットへの接続

本機は、当社製コンソレット筐体などのステレオ対応キャビネットで使用するとステレオ効果を楽しむことができます。

(1) ステレオ/モノラル切り換え

PCボード上のステレオ/モノラル切り換え部品(JP4)をステレオの位置にします。



＜注意＞モノラル仕様のキャビネットで上記のようにステレオ仕様に切り換えると、左側の音しかスピーカから出力されません。モノラル側に切り換えてください。

(2) スピーカへの接続

PCボードの56Pエッジコネクタのスピーカ出力は、左(L)側出力です。左(L)側のスピーカに接続してください。

右(R)側スピーカは、PCボード上のコネクタ(J106)に接続します。

J106 コネクタ表

1	Rスピーカ(+)
2	Rスピーカ(-)

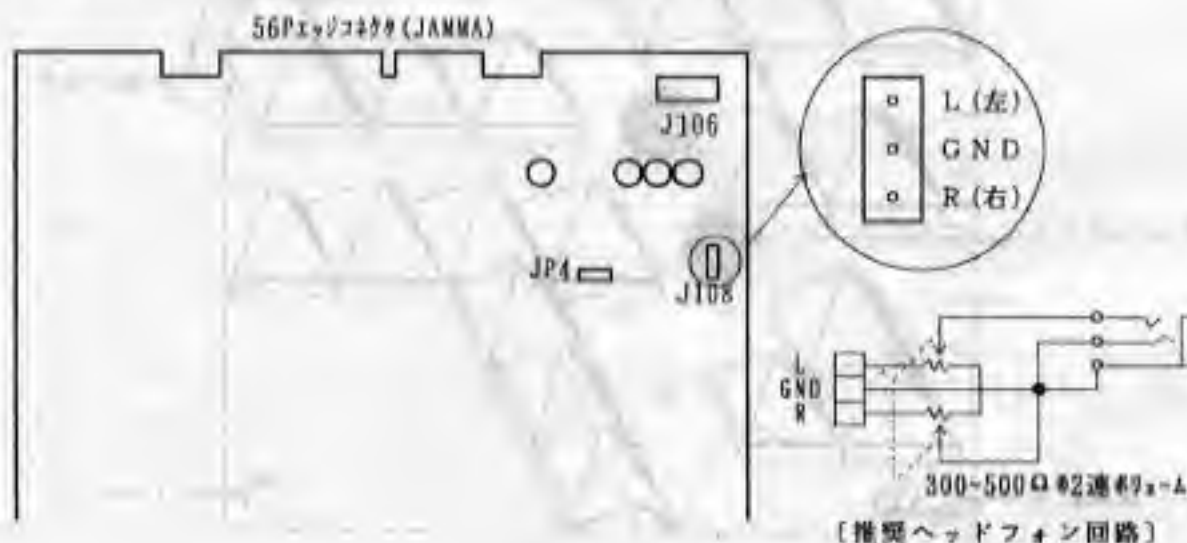
ヘッドフォン出力

本機には、ヘッドフォン出力用端子(J108)が装備されています。

指定のコネクタを使用し、下図に従ってヘッドフォンに接続してください。

＜注意＞PCボード上の音量ボリュームでは、ヘッドフォンの音量は調整できません。

指定コネクタ：パンドウィット社製コネクタ型番 CE100F22-3



● メンテナンスは購入先もしくは下記へご連絡ください。

- ナムコ 販売部販売管理課 〒146 東京都大田区多摩川 2-8-5 ☎03 (756)2311
- ナムコ サービスセンター 〒222 神奈川県横浜市港北区榑町 2-1-60 ☎045(543)6701
- ナムコ 大阪サービススポット 〒564 大阪府吹田市江の木町 20-10 ☎06 (338)6686

パックマニア・キット説明書

「バックマニアキット」をお買上げいただきましてありがとうございます。

この製品を正しくお使いいただくため、ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。

※このキットは、「マザーボードシステム87」を「バックマニア」に改造するためのものです。

1. キットの内容

キットには次のものが含まれていますので、よくお確かめください。

(不足している場合は、購入先へ連絡してください。)

- ①遊び方説明紙 _____ 2
- ②マニュアルステッカー _____ 1
- ③ゲーム説明書 _____ 1
- ④ROMキット _____ 1式 (ROMリスト参照)

ROMリスト

ROMシ-ル名	PCBロケーションNo	ROMシ-ル名	PCBロケーションNo	ROMシ-ル名	PCBロケーションNo
※ PN PRG-6	S 10	PN 1 S 0	A 10		
PN 1 P 7	T 10	PN 1 S 1	B 10		
※ PN OBJ-0	A 9	※ 1 5 1	F 10		
※ PN OBJ-1	B 9				
※ PN CHR-0	A 8				
※ PN CHR-1	B 8				
※ PN CHR-2	E 8				
※ PN CHR-3	F 8				
PN 1 C 8	U 8				
PN 1 V 0	A 4				

注) ※印は、シールではなく、直接印字されています。

2. PCボードの改造方法

1. 電源を切ってゲームPCボードを取り出してください。

(1) 電源プラグを抜きます。

(2) コネクタを外し、PCボードを取り出します。

(3) PCボードを平らな所に置きます。

2. ROM-PCボード上のROMを抜いてください。

(1) ROM-PCボードを改造します。

(2) PCボード上のほこりをエアか柔らかいハケなどで払い落としてください。

(3) 図1の□の位置にROMがあれば、すべて抜きます。

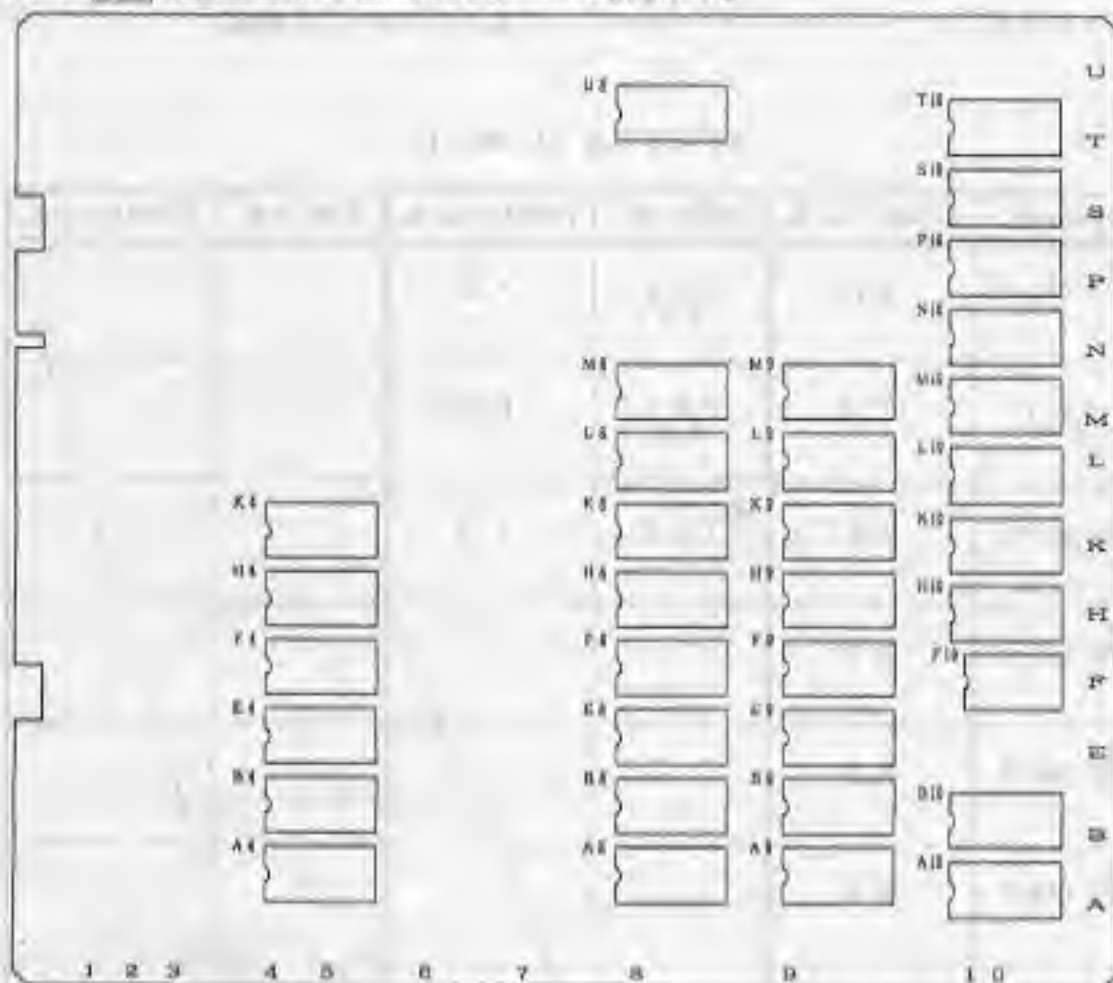


図1

ROMの抜き方

- ① ドライバーをROMとソケットの間に入れて持ち上げます。
 - ② 片側が抜けたら、反対側も同じようにROMを持ち上げます。
 - ③ ROMがソケットから浮き上がったなら、ていねいに抜いてください。
- ※ PCボード上のパターンをドライバーの先などで傷つけないように注意してください。

ドライバーの先がPCボードに触れないこと。



垂直に持ち上げる。



3. ROMを差し込みます。

- (1) ROMに貼ってあるシール（または印字）と図3を参考にして差し込む場所を決めます。
- (2) ROMの向きに注意し、図2のようにICソケットの右端に寄せて差し込みます。
- (3) ROMの足を曲げないように確実に差し込んでください。

これが目印です。周りのICと同じ向きに差し込んでください。

逆向きに差し込んで電源を入れるとROMが破壊されます。注意してください。



図2

ICソケットの右端にROMを寄せて、ROMの足を曲げないように差し込んでください。

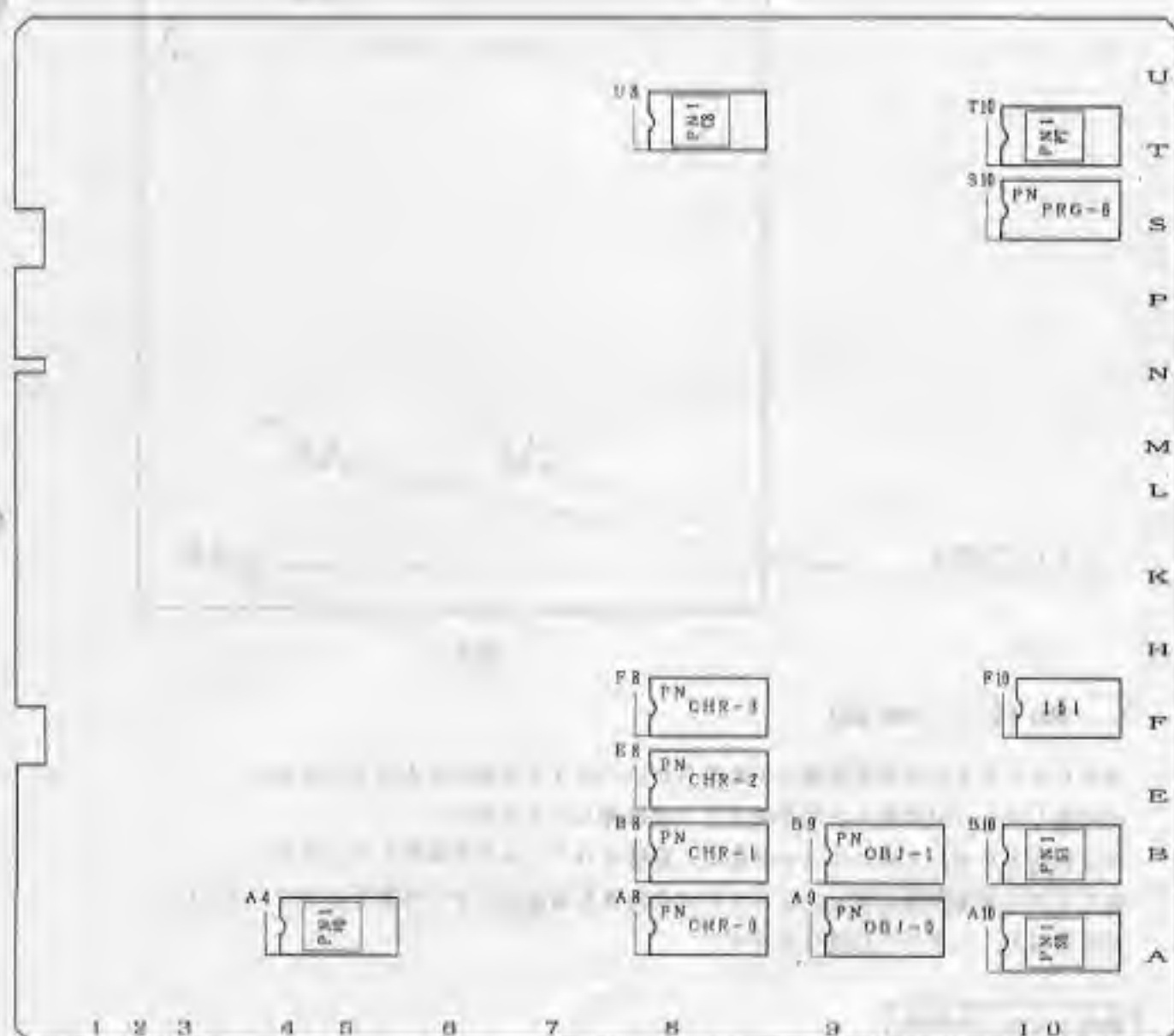


図3

4. ジャンパー部品の切り換え

(1) ROM-PCボード上のジャンパー部品「JP1」「JP2」「JP3」を下表のように切り換えます。

ジャンパー部品切り換え表

JP1		JP2		JP3	
A	B	C	D	E	F
● ●		○			
	○	● ●		○	
			○	● ● ●	

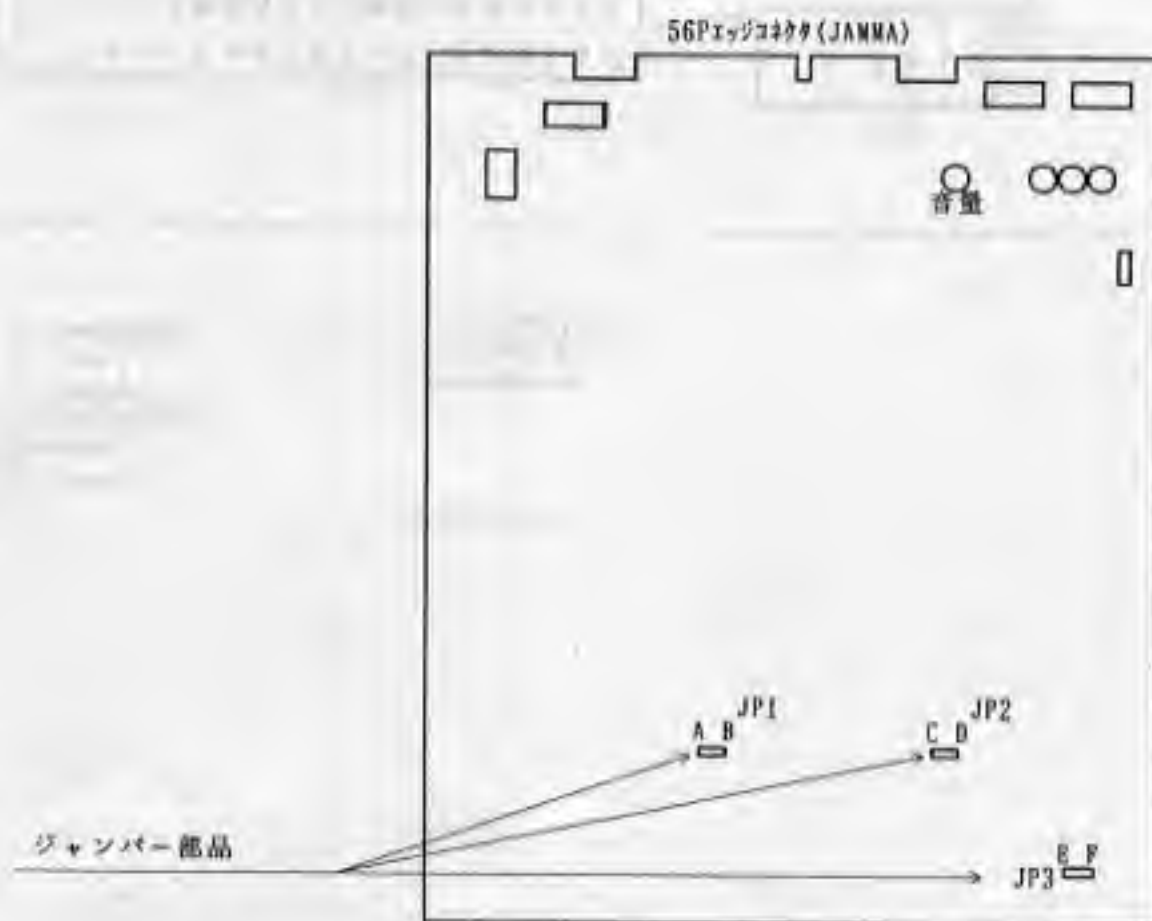


図3

3. 動作の確認

- (1) PCボード上の不要な屑をエアか柔らかいハケなどで払い落としてください。
- (2) 交換したROMの場所と向きをもう一度確認してください。
- (3) 2枚のPCボードのコネクタが正しく接続されているのを確認してください。
- (4) PCボードを筐体に戻し、コネクタの向きを確認してから電源を入れてください。
- (5) 正常にゲームが行えればOKです。

動作しなかった場合

- ・PCボードを取り出してROMの場所やコネクタの接続をもう一度確認してください。
- ・それでも動作しない場合は、購入先もしくは裏表紙記載の連絡先へご連絡ください。

● メンテナンスは購入先もしくは下記へご連絡ください。

- ナムコ 販売部販売管理課 〒146 東京都大田区多摩川 2-8-5 ☎03 (756)2311
- ナムコ サービスセンター 〒222 神奈川県横浜市港北区榊町 2-1-60 ☎045(543)6701
- ナムコ 大阪サービススポット 〒564 大阪府吹田市江の木町 20-10 ☎06 (338)6686